

平成26年度後期 新潟大学医学部保健学科公開講座 受講者募集のお知らせ

現代の医療と放射線 ～放射線で診る・治す2014～

講義概要

CTやMRIなどの画像診断装置や、高精度放射線治療装置など、医用放射線技術の最近の進歩・発展は目覚ましいものがあります。放射線に関わる様々な技術はどのようにして現代の医療に役立てられているのでしょうか？本講座では、その歴史、そしてその技術が今日どこまで到達しているのかなどについて、一般の方にも分かり易く解説します。

- 日 時 9月29日～12月1日 毎週月曜日（10/13、11/3、11/24を除く）
合計7回 19:00～20:30
- 会 場 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」講義室
（新潟駅南口 プラカ1 2階）
- 対象者 市民一般
- 定 員 50人
- 受講料 7,410円
- 申込締切 9月22日（月）



講義内容

日 程	講義題目	講義内容	講 師
9月29日（月）18時45分から開講式を行います。			
9月29日（月） 19時～20時30分	放射線とその利用	放射線は様々な分野で利用されていますが、本講義では“自然科学分野における放射線の利用”を取り上げ、中でも“医療における放射線の利用”を中心に、その実例を放射線安全管理等を交えて紹介します。	医歯学系(医学部保健学科) 教授 高橋 俊博
10月6日（月） 19時～20時30分	放射線科学技術の歴史	レントゲン博士のX線発見は、第1回ノーベル物理学賞を受賞し、放射能発見と共に、科学技術に大きな発展をもたらしました。そして発見と同時に医学利用がされ、今日、診断とがん治療に欠くことのできない手段となっています。本講義ではこれらの歴史について紹介します。	医歯学系(医学部保健学科) 教授 和田 真一
10月20日（月） 19時～20時30分	画像診断法の進歩と臨床利用	この数十年で急速な進歩を遂げた、X線・CT・MRIなどの画像診断法が、実際に臨床の場で用いられている様子を紹介いたします。	医歯学系(医学部保健学科) 教授 高橋 直也
10月27日（月） 19時～20時30分	骨粗しょう症と骨診断	骨粗しょう症とはどのような病気なのでしょうか。また、骨粗しょう症になる人はどのような原因があるのでしょうか。骨粗しょう症のメカニズムとその防止法、そして骨の状態を調べる診断方法について解説します。	医歯学系(医学部保健学科) 教授 坂本 信
11月10日（月） 19時～20時30分	アイソトープ検査	アイソトープ検査はSPECT検査やPET検査に代表されます。人体に放射性医薬品を投与し、目的部位に薬が集まったところを体外から検出し画像化します。講義ではその過程や有用性について説明します。	医歯学系(医学部保健学科) 准教授 山崎 芳裕
11月17日（月） 19時～20時30分	医療画像情報とネットワーク	放射線画像は、アナログからデジタル画像に変わりました。画像のデジタル化によって画像処理が可能となるだけでなく、遠隔転送もできるようになりました。画像のデジタル化の有用性について紹介します。	医歯学系(医学部保健学科) 教授 関谷 勝
12月1日（月） 19時～20時30分	放射線治療	がん治療の3本柱の1つである放射線治療について、基本的な手法、治療効果、および副作用などについて紹介します。	医歯学系(医学部保健学科) 教授 笹本 龍太
12月1日（月）20時30分～20時45分まで閉講式を行います。			